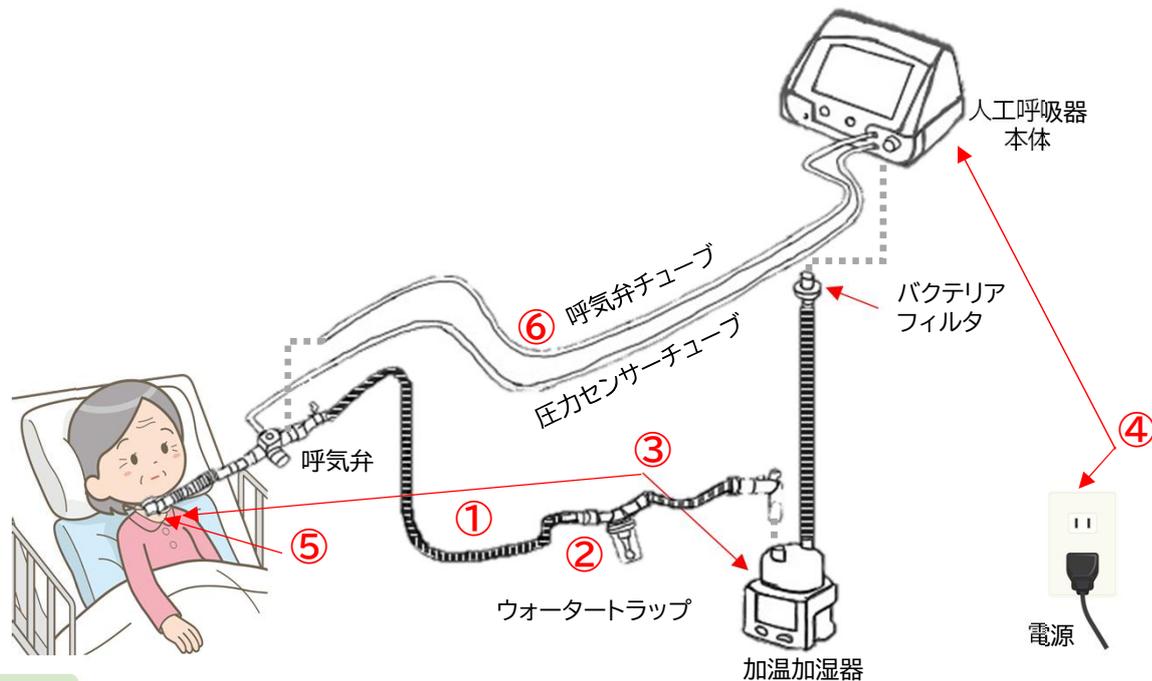


こんなところに
気を付けよう！

在宅人工呼吸器ヒヤリ・ハット防止チェックリスト



①回路

- 回路に破損はないか
(普段から「へ」の字に折れ曲がっている部分は破損のリスクあり)
- それぞれの接続部分に緩みはないか
(目視だけでなく手で触れて確認。車や車椅子の振動は緩みが発生するリスクあり)
- 体位変換時は保持しているか、チューブ等は引っかかかっているか
(体位変換時は回路が引っ張られ、接続が外れることがあるので特に注意)
- リーク数値が表示される機種は、適正な値となっているか
- 必要以上に結露が発生していないか、回路の下部に水が溜まっていないか
(冷房の直撃や冬場暖房しない場合に回路内の結露の発生が増加する)

②ウォータートラップ

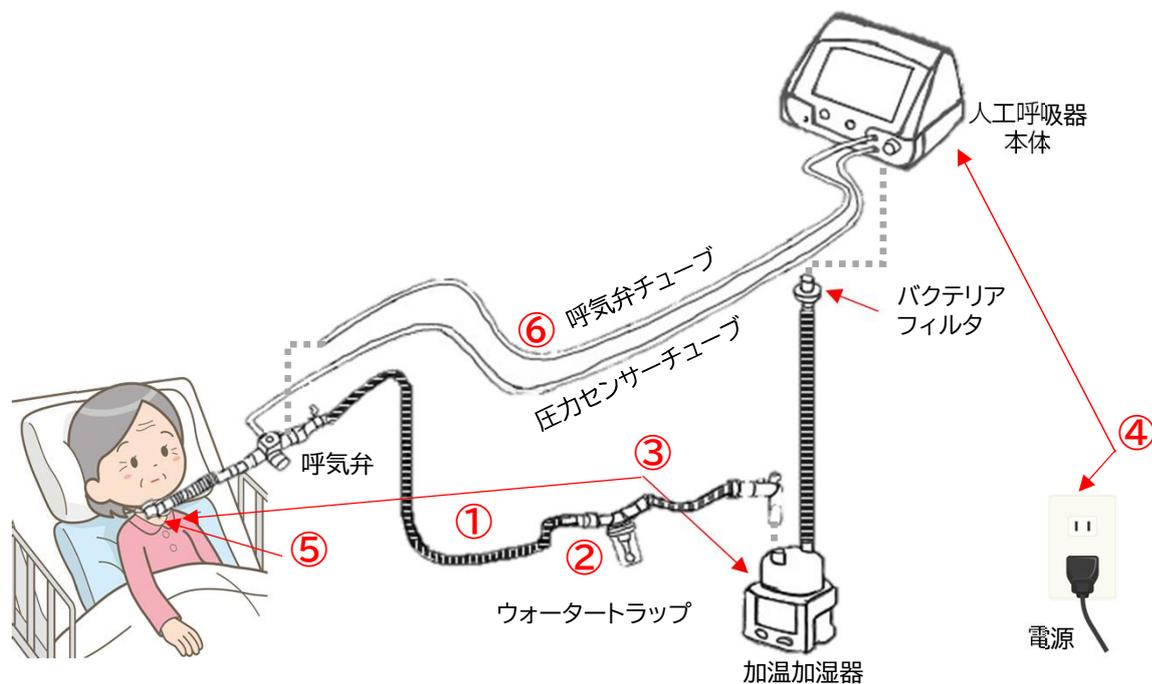
- カップのフタは隙間なく閉まっているか
(種類によって構造、取扱いが異なることに注意)
- リーク数値が表示される機種は、適正な値となっているか
- カップの中に水が大量にたまっていないか、適度に排水しているか

③加温加湿器・人工鼻

- 加温加湿器内の水は空になっていないか
- 移動時等一時的に電源OFF後の再使用時は、電源ONしているか
(インジケータの点灯を確認)
- 取り外し後は、忘れず回路と再接続しているか、チャンバー接続部分は隙間なく確実に接続しているか。
- 加温加湿器の位置は呼吸器本体より下方に設置しているか
(車椅子等での移動時に使用すると、振動で逆流しやすく特に注意が必要)
- 人工鼻とバクテリアフィルタを間違えて装着していないか
- 人工鼻と加温加湿器を併用していないか(併用禁忌)

こんなところに
気を付けよう！

在宅人工呼吸器ヒヤリ・ハット防止チェックリスト



④電源

- 電源接続されているか(インジケータ表示でAC電源供給状態を確認しているか)
- 入浴等で一時的にコンセントを抜いた後は、再接続しているか
- 電源プラグはコンセントに接続されていることを確認しているか
(掃除などベッド回りの環境調整時や、電源タップ、延長コードでの電源接続は要注意)

⑤気管カニューレ

- カニューレホルダーの締め具合は適切か
- ガーゼをしている場合は、ガーゼの下で気管カニューレが抜けていないか
- 体位交換の際は保持する等、気管カニューレが抜けないように注意しているか
(気管カニューレの抜けは体動時に多く発生。また、小児患者の場合、成人に比べ気管カニューレが短く、カフなしカニューレが使用されていることも多く、特に抜けやすいため注意)

⑥圧力センサーチューブ・呼気弁チューブ

- 水の流入はないか
- 圧力センサーチューブの差込口の向きは適切か

異常発生時は、多くの場合アラームが鳴動します。アラームが鳴ったらすぐに消さずにエラーの内容をきちんと確認しましょう！！

※あくまで一例であり、お使いの人工呼吸器によって機能が異なる場合があります。

人工呼吸器のトラブル発生時は、お使いの機器の説明書にトラブルシューティング等が記載されていることがあるので、そちらの確認も行ってください。